

年代		イベント	人口・産業状況	植生
BP. 5500	縄文前期	海進最盛期	鬼虎川遺跡など縄文前期遺跡多数	アカガシ亜属卓越
BP. 4500	縄文中期	小海退、開析進む	長原遺跡ほか	温帯針葉樹の増加、自然攪乱の増加
BP. 3500	縄文時代後半	氾濫原広がる	池島・福万寺遺跡ほか	アカガシ亜属領域拡大
BP. 2000	弥生中期	弥生小海退	遺跡増加	
350		鉄鋸出現		
550		製鉄が始まる		
6c~7c	飛鳥時代	飛鳥宮、難波宮、大津京	条里制	
676			天武天皇飛鳥川上流に草木の伐採禁ずる勅	
695		法隆寺再建		
8c	奈良時代	藤原京、平城京、恭仁京等の造営、遷都	藤原宮造営のため田上山から伐採	
865		材木規格運載法を定める		
9c		平安京		
1145		池田炭	久安寺池田炭の献上記録	
1244		元興寺に縦挽き鋸痕		
13c末		河床の固定		天井川形成始まる・マツ属花粉増加
15c		台場クヌギの成立	猪名川・淀川・木津川の水運確立	
1493		文献上縦挽き大鋸		
1590		京都伏見に道具鍛冶		
1683		幕府、淀川・大和川水系で山地開畑・山畑をやめ植林を命ず		
1684		幕府、上記に加え草木根の堀取りを禁ず		
1700		台切り大鋸の普及		
17-19c			大阪港への薪炭水揚げ	草山広がる・綿花栽培も広がる
1716		京都富野荘の利兵衛、サツマイモを広める		
1898		吉野林業全書		
		山林雑記		
1828		農業余話 小西篤好		
1898		炭焼手引草 田中長		はげ山最盛期